



**1** 4月5日の第2住吉保育園、**2** 4月7日のたいよう・こにこ学童クラブ、**3** 4月8日の認定こども園つくし保育園と、新年度のスタートに合わせて市内に複数の子どもの施設が誕生しました。子どもたちに囲まれた山口市長「子育てするなら千歳市」の政策が形をなします。

**4** 4月6日、市内小学校で一斉に入式式が行われました。写真は駒里小中学校。新一年生は小学生1人、中学生3人という入式式でしたが、上級生から送られる拍手は、元気がよく、優しい音色を奏でていました。

**5** 4月6日、東千歳駐屯地で、自衛官を対象にした「認知症サポーター養成講座（介護予防センター主催）」が初めて行われました。被災地の認知症患者の対応法など、出席した自衛官の皆さんは熱心にメモをとっていました。

**6** 4月13日、支笏湖地域での春の恒例行事「露天風呂の大掃除」。清掃に当たる皆さんは、たくさんのお客の訪問を願い、汗を流します。ひと足早い観光シーズンの開幕です。

**7** 4月19日の「しいく（飼育）の日」にちなみ、サケのふるさと千歳水族館で行われた「飼育係ちよこつと体験」。来観客の子どもたちは、普段は入ることのできない水族館の裏側で、探検隊の気分を満喫しました。

## 市役所の人事異動は少々不思議。昨日「お世話になりました」と告げた相手に、今日「お世話になります…」と言葉を交わす。同じ「ハコモノ」の中での風物詩だ。それでも共に働いた仲間の潤む睡や、新職場での旧知の笑顔には心が温かくなる。ちよつと変わっているけど、なんだか温かい。そんな広報紙を目指してみたい。

■ 昨年の母の日には、鼻をかんて丸めたティッシュしかくれなかつた息子も3歳になり、巧みに母のご機嫌を取るように。口癖は「ママと結婚するー！」です。先日「結婚って何をすること？」と聞いてみたところ、満面の笑みで「一緒にかけっこすることー！」。母は、もう少し落ち着いた関係を望みます。

## 今月の表紙

5月上旬に1週間だけ咲く春の妖精・エゾエンゴサク。この日は野鳥を撮りに支笏湖に出かけましたが、なかなか巡り会えず…でもほら、わずか10cm程度の小さな花をのぞいたら、鳥さんの顔をした花卉が春のご挨拶。



4月23日「支笏湖探しウォーク」でのひとコマ